

変わりゆく森林・林業と生物多様性 —林業は生物多様性を守れるか？—

森林植生研究領域 山浦悠一



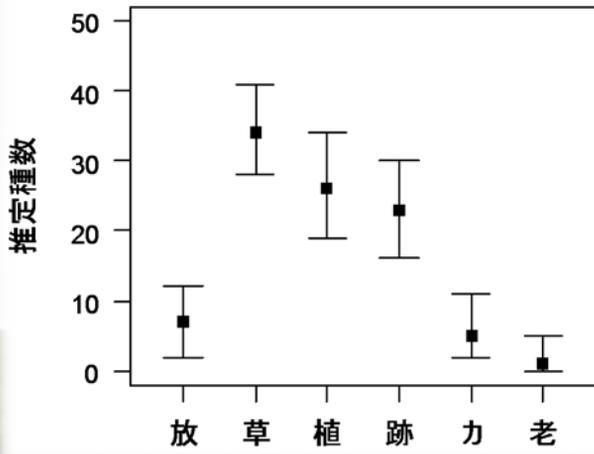
人と自然の関わりが変化するにつれて、日本の自然は変貌しつつあります。

近年の研究成果をもとに、林業が生物多様性の保全に果たす役割について考えたいと思います。

主なトピック

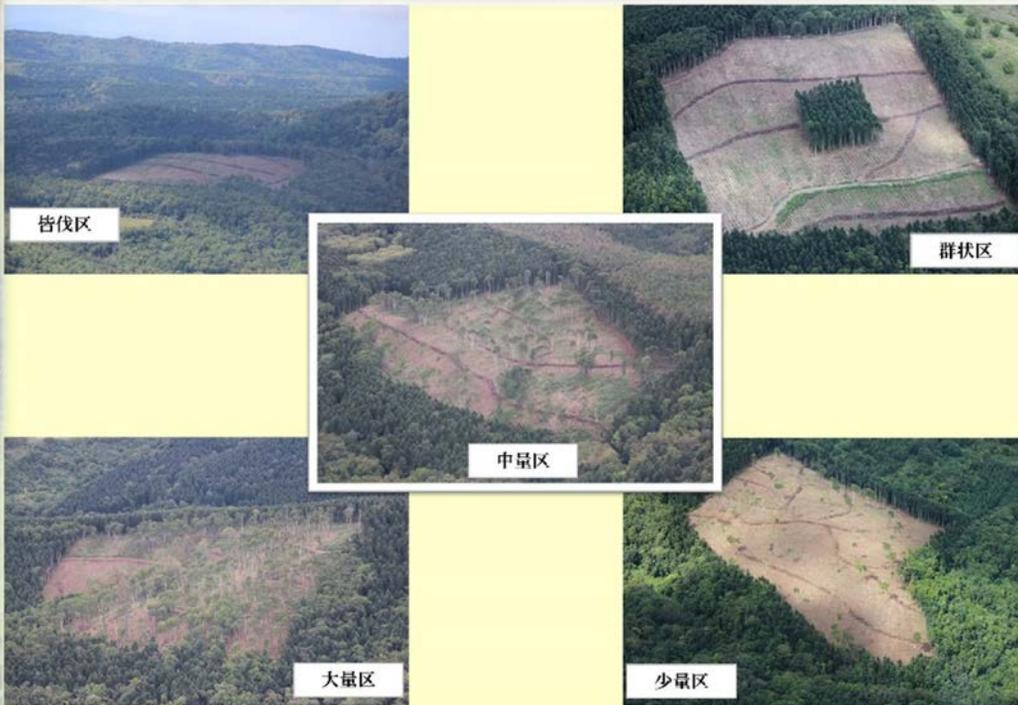
- ✓ 森林伐採の今日的な意義
- ✓ 外材依存(伐採インパクトの輸出)が示唆すること
- ✓ 木材生産と生物多様性保全の両立について
- ✓ 日本の研究が世界で果たす役割

植物遷移初期種



植栽したばかりの人工林(新植造林地)は、遷移初期種(草地性種)にとって、採草地に匹敵するほど価値があることが分かってきました

放:放牧地、草:採草地、植:新植造林地、跡:伐採跡地、カ:カラマツ人工林、老:天然老齡林



伐採が森林性生物に及ぼすインパクトをいかに低減するか？
検証実験が始まっています